



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 4月2日 第602回例会

卓 話

「持続可能な生産消費形態の実現を目指して」
「環境・持続社会」研究センター 足立 治郎 氏
事務局 長 代 行

先週報告 3月26日 第601回例会

◎会長報告

村野ガバナーから、5月6日(木)～8日(土)、京都で行われるRI会長主催アジア会議に是非出席頂きますようにとのご案内がありました。(詳細は、週報586号をご参照願います)

◎幹事報告

4月の火曜会は、4月6日(火)、東京全日空ホテル37F「アストラル」にて、開催されます。パネラーを山川会員にお願いし、「特許のあれこれ」という題でお話頂きます。多数ご出席頂きますようお願い致します。

◎社会奉仕委員会報告(後藤委員長)

風の子会主催「障害者は外に出よう」運動が、5月16日(日)に行われます。当クラブとしても、積極的に協力を致したく、少なくとも10人程度は参加したいと思っておりますので、皆様の多数の参加をお願い申し上げます。

◎慶事披露

●お誕生日祝い/二宮利泰君(3月27日)、佐々木忠行君(3月30日)

●100%出席/鈴木重徳君(12年)

◎出席報告

●会員71名/出席44名・欠席27名(出席規定免除者4名)
●ビジター8名/(敬称略・順不同)氏家直志(東京板橋)、石黒 康(東京五反田)、酒井重人・田村達也(以上東京日本橋)、末次英夫(東京新橋)、神通 豊・小見山了一・島崎保彦(以上東京南)

お 知 ら せ

会員事業所電話番号訂正/金光圭一君

郵船ビルテック株式会社

(正) TEL 3435-1061 FAX 3435-7009(変更なし)



3月26日/13件 46,000円
98～99年度累計 1,548,000円
多額のご寄付を有難うございます。
(順不同敬称略)

後藤完夫/マズいいニシエーション・スピーチお許し下さい。荒木昭文/後藤完夫会員のイニシエーション・スピーチを歓迎して。鈴木重徳/お蔭様で何とか12年皆勤出来ました。二宮利泰/早くも又誕生日が参りました。後藤信夫/初めて他クラブで卓話をしてきました。石井謙次/昨日は吉田さん、研修ありがとうございました。コンシニ/先週は来客紹介でした。勉強になりました。斉藤茂之/無題。小杉眞史/桜が開花しました。いろいろとお世話様になっております。岩瀬秀郎/九段の桜が咲き始めました。入沢頼二/良い季節になりました。馬場一廣/田中さんに元気になってほしいとの気持ちから。田中 武/次期会報委員会の件では、小杉次期幹事さんに大変ご苦勞をおかけしております。本日ニコニコ担当です。ご協力有難うございました。

4月は ロータリー雑誌月間 です

4 月 行 事 予 定

2日(金) 4月定例理事会 例会後 13:40～15:00
東京全日空ホテル 1F 孔雀の間
6日(火) 火 曜 会 18:00～19:30
東京全日空ホテル 37F アストラル
8日(木)～9日(金) 第2750地区グアム地区大会
23日(金) クラブフォーラム 例会後 13:40～15:00
東京全日空ホテル B1 八雲の間

ロータリー雑誌月間に因むミニ情報

雑誌月間

国際ロータリーの公式機関紙である『ザ・ロータリアン』あるいは世界27ヶ国で刊行されている地域雑誌の購読と、それを活用して役立つプログラムを行う月間です。雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることが目的です。

公式地域雑誌

ロータリアンは、RI公式機関雑誌(ザ・ロータリアン)または、RI理事会の指定する地域的なロータリー雑誌、日本では『ロータリーの友』を有料で購読しなければならないと、標準ロータリー・クラブ定款第12条および国際ロータリー細則第20条で定められています。『ロータリーの友』はRI理事会により1980年7月号から、日本のロータリー・クラブのための公式地域雑誌として指定されています。

第5回クラブ協議会

「クラブを活性化するクラブ奉仕」

3月26日 13:45～15:00

全日空ホテル 八雲の間(出席者18名)

小湊クラブ奉仕委員長の司会で、クラブ奉仕委員会の各委員長あるいは副委員長からの意見に対して、随時参加者から意見・感想を述べてもらう、パネルディスカッション形式で討論が行われた。

出席委員会(小湊委員長代行)

メイクアップを是非実行していただきたい。出席率60%以下の方に対して手紙でご連絡することも必要かと考えている。

職業分類委員会(入沢委員長)

会員増強委員会と連携を取りながら、進めている。未充填分野を埋めるべく、後藤会員のご協力で港区内の3000社をリストアップしたので、有効活用を図りたい。

クラブ会報委員会(村山委員長)

3月から、印刷も含めて、すべてを委員会で作れるようになった。委員の負担感を少なくする工夫が必要と考えている。——小湊委員長から、クラブのコンピュータ・リテラシーへの取組であるとの助言があった。

親睦活動委員会(小原委員長)

恒例化していることをこなすのに精一杯で、新規活動を行う余裕がない。イベントの量は、現状多いのか少ないのかご意見をいただきたい。——会場からは、食べ歩きの会はもっと多くて良いのではとの意見が出された。

選考委員会(武下委員長)

「選考」というのは、あまり相応しい言葉ではないと感じている。候補者との面接の際も、クラブの説明をする程度のことしか出来ないのが現状である。

会員増強委員会(荒木委員長)

会員増強はクラブの活性化そのものである。会員全員で努力をしていきたい。

プログラム委員会(青野委員長)

全員が満足するプログラムはなかなか難しい。半分の方に満足してもらえたら、良しとしたい。1ヶ月前にプログラムを発表してはどうかと考えている。

ロータリー情報委員会(吉田副委員長)

委員会を中心として2回の勉強会を実施した。新会員の勉強会に使用しているテキストは大変良く出来ているので、全会員に配りたいと考えている。

職業奉仕委員会(宮本委員長)

例会の活性化こそクラブの活性化である。他クラブの例も調べているので参考にして欲しい。

ソングリーダー委員会(二宮副委員長)

新しく2部合唱の歌をレパートリーに加えたい。——参加者からは異存無く、選曲等は委員会に一任。

最後に宮武会長のとめの言葉があつて、会を終了した。

先週の卓話 イニシエーションスピーチ

「アメリカンフットボールとJリーグ — その愛憎の関係」

当クラブ会員 後藤 完夫

タッチダウン(株)代表取締役



日本は東西文化の融合地点といわれる。スポーツも同様である。

日本体育協会所属のスポーツは39種目(選手人口約1千万人—88年)もある。オリンピック種目以外にも、ワールドゲームズ所属の30種目。アメフットはいずれにも所属していない。

一方、1年間スポーツなしが49%、スポーツを実践しているが30%、行いたい機会がないが48%

の調査結果もある(94年度調査)。スポーツが自らその魅力のアピールしないと普及しない環境、特に、日本には理論づけを愛する(知識先行型の)国民性がある。

その中で、遅れてきたスポーツ、アメリカンフットボールをアピールするには、技術や楽しみ方だけでなく、哲学、精神性、風土を含む文化としてのアプローチが必要だった。理解を容易にする為に、米国文化の象徴であるアメフットと、日本に根づいた英国文化の象徴であるサッカーとの対比をした。心ならずも出来た、サッカーとアメフットの愛憎の関係。

フットボールを家族にたとえれば、サッカーが父親、ラグビーが長男、アメフットは次男。反英国の米国で生まれたアメフットは既存の価値観を否定しつつ、恵まれた環境を積極的に吸収して、独自のスポーツとなった。

30年前の日本では約30の大学しか活動はなかった。近くて遠かったアメリカ文化を紹介する為に、現在メディアミックスと呼ばれる方法を模索しながら進んだ。メディアへの呼び掛け、テレビでの露出、少年少女への漫画、女性へのアプローチ(ジョー・ロス、ジョーイ、チアリーダー、教科書)建国200年祭に後押しされた。低迷していたサッカー誌から公開質問状を貰った。

個人の尊重、平等つまり民主主義、そして合理主義、実利主義、実践主義(試行錯誤)、技術先導主義、アメフットの主張が刺激した。

じつは、Jリーグがスタートする93年、1年前にJリーグのオーナー会議に呼ばれた。川淵さんにスポーツ文化を学びたい。スーパーボウルを観戦、テレビ等の収入の共同管理。サドンデス。プレスサービス。チャリティのあり方。Jフラッグの開催。

でも息子が尊敬出来る頑固親父に対する、愛憎の関係を保ちたい。

次週予告 4月9日 第603回例会

ブッフスタイル例会のため卓話はごさいません

(八雲の間)

8日(木)～9日(金) 第2750地区グアム地区大会

東京新南ロータリークラブ

会長: 宮武保義 副会長: 小湊雅亮 幹事: 大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 真史、開発 英基、
柴田 尚毅、大山 啓人、T. CONSIGNY、
谷 義一、金光 圭一、大村 富俊、
村山 公士 (編集担当順)